

---

## あとがき

本書は、本学の若手図書館員たちの発案・構想により、実現したものです。

東北大学附属図書館では毎年、本館・分館でそれぞれ情報検索の講習会を実施しています。講習会の資料には、担当係でコピーしたものを使っていましたが、継続して使える冊子体を作成したいとの要望があり、これが構想の発端となりました。また、2002年5月に刊行された『情報リテラシー入門』（慶應義塾大学出版会）という好著がよい刺激となり、本格的な冊子体の執筆に挑戦することとしました。

本書は、附属図書館の情報サービスワーキンググループ(WG)を母体とし、本館・分館および研究所図書室の職員が加わったグループで執筆したものです。執筆に取りかかる前には、先の『情報リテラシー入門』を始めとする類書の分析を行いました。その過程で、次に示すような本書の目指すところを明確にすることができました。

- ・主に新生を想定した説明内容とする。
- ・東北大学内の利用環境に則したツールの紹介を行う。
- ・電子版も作成するが、学生が愛着を感じるような冊子体を作る。

これらを明確にしたことで、その後執筆の際に直面したさまざまな問題に対して、首尾一貫した判断を行うことができたと思います。

執筆計画の提案をしたのが2002年9月、分担して執筆を開始したのは同年11月でした。2002年12月から2003年3月にかけて、6度にわたる執筆・校正作業を繰り返し、本日3月20日に最終稿が完成しました。約半年という短い期間でよく完成したものだ、執筆メンバーの力量に感心するとともに、主査としては感慨深いものがあります。また、たび重なるメンバーの打合せや業務中の執筆に、多大なるご理解・ご協力をいただいた関係職員の方々には、この場を借りてお礼申し上げます。

本書の完成は、我々の大きな自信となるものですが、さらに「中級編」や「上級編」という新たな課題がまっています。また、多くの読者のご意見・ご指摘を反映して、よりよいマニュアルに改訂する必要があります。その意味で本書は、図書館サービスの利用促進・向上を図っていくための、新たな出発点になるものだと考えます。

2003年3月20日

情報サービスWG主査 米澤 誠

---

参考文献（著者の 50 音順）

- 1) 池田祥子．『文科系学生のための文献調査ガイド』．青弓社，1995．
- 2) 慶應義塾大学日吉メディアセンター編．『情報リテラシー入門』．慶應義塾大学出版会，2002．
- 3) 斉藤孝，佐野眞，甲斐静子．『文献を探するための本』．日本エディタースクール出版部，1989．
- 4) 実践女子大学図書館．図書・雑誌探索ページ．<<http://www.jissen.ac.jp/library/frame/>>
- 5) 情報科学技術協会．『情報検索の基礎』．第 2 版．日外アソシエーツ，1997．
- 6) 長澤雅男．『情報と文献の探索』．第 2 版．丸善，1994．
- 7) 新潟大学附属図書館「情報検索とその活用」編集委員会編．『情報図書館：大学で役立つ情報検索法』．同委員会，1998．
- 8) 山本毅雄．『21 世紀の本の読み方(岩波高校生セミナー .9)』．岩波書店，1999．

執筆分担（所属は 2003 年 3 月現在）

- 第 1 章： 米澤誠（総務課情報企画掛），半澤智絵（農学分館図書掛）  
第 2 章： 杉山智章（情報シナジーセンター学術情報支援掛）  
第 3 章： 高橋菜穂子（工学分館整理・運用掛），阪脇孝子（情報サービス課参考調査掛）  
第 4 章： 佐藤初美（多元物質科学研究所図書室）  
第 5 章： 菅原透（情報サービス課参考調査掛）  
第 6 章： 半澤智絵  
第 7 章： 勝本加奈子（金属材料研究所図書掛）  
付録，索引： 宗川かほり（工学分館管理掛），菊地良直（北青葉山分館整理・運用掛）

本文中に掲載した画面例の著作権者からは、本書への掲載をご快諾いただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。